

1. これまでの経緯とスケジュール

下野市地域公共交通会議

- H21年度より下野市内における公共交通のあり方を検討する委員会や交通会議を設置し、バス、タクシー等のサービスに関して議論をしてきた。
- 人口減少や少子高齢化が進展する中、既存の鉄道や路線バス等の利便性や効率性の向上を図るとともに、高齢者等の交通弱者を対象として運行しているデマンドバスを含め、公共交通システムの検討を行い、まちづくりと一体となった持続可能な地域公共交通ネットワークを再構築する必要がある。
- 「下野市地域公共交通総合連携計画」が令和2年度で終了を迎えることから、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号、以下「法」という。）に基づき、「地域公共交通網形成計画」（以下「網形成計画」という。）の策定を実施する。

令和元年度に各種調査を実施のうえ、課題と方針の整理結果を踏まえ、網形成計画（素案）を策定。令和2年度にパブリックコメント等の結果を反映し、網形成計画（案）を国に提出予定



第1回(7月)

- 下野市地域公共交通網形成計画(素案)について
- フィーダー補助金について

パブリックコメント
の実施

第2回(10月)

- パブリックコメントの結果報告
- 今後のスケジュール確認

パブリックコメントの結果を
網形成計画(素案)に反映
させ、国に提出

第3回(1月)

- 下野市地域公共交通網形成計画について(報告)